

透明文字盤を使ってみよう!



埼玉県総合リハビリテーションセンター

地域支援担当

(H25.8)

透明文字盤の作り方

★身近にある材料を使い、実際に使用する人に合わせた

『言葉』『レイアウト』『大きさ』で作ることが一番です★

【材料】

- 透明板 ①材質：塩化ビニール板やアクリル板など
②サイズ：B4またはA3程度
③厚さ：1mm～1.5mm程度
- 実物大文字列
- 黒の油性マジック
- 紙ヤスリ



【注意点】

- 縁は手で持つと消えやすいので、内側に文字を書くようにします。
- 透明度が低いと視線の読み取りが難しくなりますが、半透明の板の方が見やすい場合もあります。
- 透明板が重すぎると疲れてしまい、薄すぎるとしななって使いづらいので、使いやすい物を選びましょう。
- 用件欄は(例えば…吸引、トイレなど)練習後にご本人と相談し、決めてから記入するとよいでしょう。

【作り方】



①実物大文字列の上に透明板を置き、上からマジックで罫線と五十音の文字列を記入する。



③用件欄にご本人の訴えの多い内容や数字、家族の名前等を記入する。



②『さ』は裏から見ると『ち』と読めてしまうので『さ』にする。



④透明板の四隅を紙ヤスリで丸く削り、できあがり。

※五十音表は逆並びです。聞き手は裏文字を読み取ることになりませんが、並び方が正しい配列なのでこの配列をヒントに裏文字を読み取ることができます。



透明文字盤の使い方

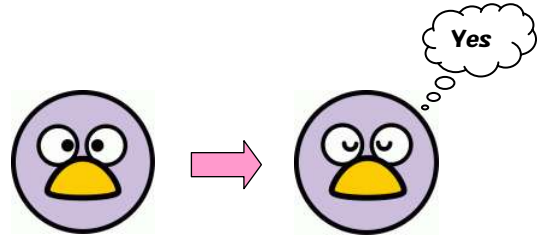
★最初は間違えたり、目の動きが読み取りにくかったりしますが、
だんだんと早くなり、使い慣れれば簡単で有効なコミュニケーション方法です★

準備

【合図を決める】

『Yes の合図』：ゆっくり、しっかりした瞬き
目を見開く・口を開ける など

『No の合図』：反応しない、Yes と反対の動き など



埼玉県のマスコット「コバトン」

point

- ☆ご本人 顔は動かさずに目の動きだけで文字を伝える・『Yes の合図』をはっきり伝える
- ☆聞き手 ご本人の見方の特徴をつかむ・白い服の方が見やすい
大きく動かすとどの辺を見ているのか分かりやすい

使ってみよう

【姿勢】ご本人と聞き手が文字盤を挟んで自然に向き合える位置を決める。
無理な姿勢で疲れることがないような位置を見つける。

【位置】ご本人の目から 20~30 cm くらい離れた位置に、文字盤を合わせる。
ご本人の見やすい範囲でできるだけ近づけた方がよい。

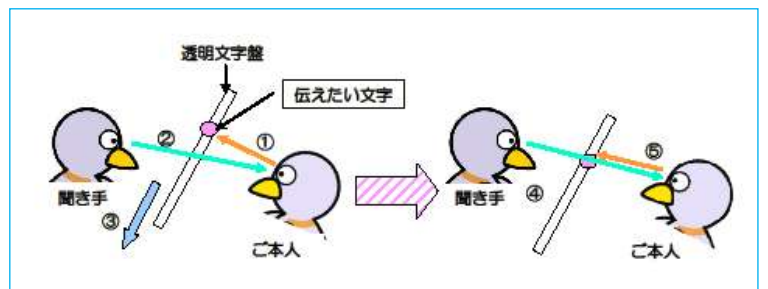
【手順】ご本人：①伝えたい言葉を見る。

聞き手：②③ご本人の視線と自分の視線が一直線になるように文字盤を動かす。

④ご本人がいていると思われる文字を読み上げる。

ご本人：⑤合っていれば『Yes の合図』をし、次の文字を見る。間違っている場合は『No の合図』をする。

聞き手：『Yes の合図』がない場合は、文字盤の位置を少しずらし、ご本人の視線を再度確かめ、読み上げる。長い文章の場合には、読み取った文字を書き取る。



練習しよう

お互いに分かっている単語や予測しやすい単語を使って、目の動き、文字盤の動かし方に慣れましょう。途中で単語等が分かったとしても『先読み』をしないことが基本です。一文字一文字ご本人のペースで最後まで伝えられるようにしましょう。

- ①「あ行」など行を決め、そのうちの一文字を見てもらい、読み取る。
- ②果物の名前、動物の名前など聞き手がカテゴリーを指定する。
- ③短い単語→長い単語→短い文→長い文の順に練習していきましょう。

【参考】

<インターネット検索>

- ・難病情報センター
- ・日本ALS協会
- ・狭山神経内科病院 言語療法室
- ・株式会社 テンシル

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
い	き	し	ち	に	ひ	み	°	り	ー
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る	を
え	け	せ	て	ね	へ	め	ゞ	れ	 ありがとう
お	こ	そ	と	の	ほ	も	よ	ろ	ん

ご本人側から見た場合（拡大コピーしてお使いください）